

開催内容（詳細）

I. 会場 岩手産業文化センターApio アリーナ（全体の 2/3 約 2,400 m²使用）

- ① 2019 伝統工芸ふれあい広場・岩手
- ② 2019 全国くらしの工芸展・岩手
- ③ 第 22 回日本伝統工芸士会作品展

※①、②は間仕切りをしないオープンな構成とする。③は①、②との明確な間仕切りを作ること。また、必要出入口を 1～2 ヶ所程度設置し、ステージ音響の影響を避けること。

※※過去の実施の状況は大会 HP (<http://kougei-expo.com/>) を参照

II. 会場構成

①2019 伝統工芸ふれあい広場・岩手（岩手産業文化センター アリーナ約 1,300 m²を予定）

1. ・伝統的工芸品の製作体験指導／10 工芸品（予定、工芸品は調整中）

来場者が伝統的工芸品の製作を体験できるコーナー

小間の標準型は、1 工芸品あたり机 3 台と体験者用イス 6 脚及び講師用イス 2 脚及び商品を表示する台で構成します。紙漉きや機織りなどのように別の専用機材を活用する場合はこの限りではありませんが、本見積書の作成につきましては、記載項目に沿って算出してください。

*給排水を利用する場合がありますので、シンクの設置（2 ヶ所程度）を予め図面に記載してください。

- ・伝統的工芸品の製作実演／10 工芸品（予定、工芸品は調整中）

来場者に伝統的工芸品製作工程の一部を披露するコーナー

小間の標準形は、原則として畳敷き（高さ 50cm・畳 2 畳分）と机による展示台。ただし、工芸品によっては床（パンチカーペット敷き）養生のみで机等を使用しない場合もありますが、本見積書の作成につきましては、記載項目に沿って算出してください。机タイプは、各小間につき商品展示する台、机 1 台と実演者及び助手用イス計 2 脚で成します。

2. 特別展示コーナー／1 ブースを予定

「繭から生糸まで」 蚕の繭から生糸ができるまでの工程を展示紹介。説明用モニター・DVD プレーヤー（設置台）、説明パネル（B2 サイズ 3 枚）。

*展示小間の設営案等をご提案下さい。標準形の小間サイズは見積書様式に記載してあります。

3. 給食器/公共施設で使われる工芸品の展示コーナー

地元で作られぬくもりを感じる給食器や、生活の身近なところで使われている工芸品を展示し、地域産品である伝統的工芸品の魅力を伝えるコーナーです。

*展示物は原則、当協会の手配いたしますが、展示方法を含めてご提案があれば提示してください・

4. テーブルコーディネーターコーナー

4名のテーブルコーディネーターによる、日本人の暮らしのなかのテーブルコーディネーターをそれぞれ紹介します。

*展示品は主催者が用意します。実際の展示の際はコーディネーターの要望等により若干変更される場合もありますが、本見積書の作成においては、通常の会議用テーブル等(W1800×D900×H700)・クロス(白布)による設営を基本としてご提案ください。

5. 三井ゴールデン匠賞展示

表示用のパネルを作成してください。(展示備品等は不要)

6. 都府県 PR /伝統的工芸品 PR コーナー

イ) 都府県 PR コーナー (別紙参照: ポスター、パネル等で都府県観光情報等を紹介)

- ・32都府県を予定。
- ・パンフレットを用意しますので、設置台なども含めご提案ください。
- ・伝統的工芸品の職人募集を行うコーナー(新設)の設置(5都府県を想定)

ロ) 伝統的工芸品紹介コーナー

- ・国指定の伝統的工芸品232品目を写真パネル等で紹介
- ・サイズ・仕様は掲示場所に応じて自由ですので、ご提案ください。
- ・素材となる工芸品写真原稿等は提供します。

7. 伝統工芸ステージ(約130㎡ステージ、モニター、及び60席の客席)設営・運営業務

・伝統工芸に関する特設ステージを設営しとして来場者が楽しめる様々なイベントを実施します。

現状は、邦楽器演奏(1日1回)、活け花デモンストレーション等を予定しています。その他のイベント企画については、9.特別提案にてご提案ください。

・一日4回のイベントを実施し各ステージの間隔は30分開けることとします、常にイベントを実施するものではなく、ステージイベントを実施しない場合は、伝統的工芸品等の製作工程の映像を放映するためのステージ上にモニターを設置し、PC等による映像投影や伝統的工芸品等の製造工程等を紹介する映像の放映が可能とすること(映像は当協会から提供します)。

8. サイン関係等

会場内催事タイトル看板 開催趣旨、主催者、後援名など掲載。

※外国語（英語、簡体字、繁体字）表記を行うこと（工芸品名等のタイトルのみ）

9. その他 特別提案について

★開催会場の特性等を活かし、以下の目的を参考に特別提案を提示してください。

全国各地から様々な工芸品が集結する本催事の特徴を活かした取り組みを展開し、将来に向けた新たなチャンスを生み出していくことを目指す。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、日本の文化への関心が高まる機会を捉え、「伝統マーク」の認知度向上を兼ね、日本各地の伝統工芸品魅力を効果的に伝えていく。

※特別提案については、すべてまたは一部を実施しない場合があります。

②全国くらしの工芸展（約 600 m²を予定）展示・販売コーナー

（50 工芸品 70 小間を予定）

伝統的工芸品を業種・品目別に展示し、販売します。レジは必要ありません。

- 1 小間の大きさ=W1800×D900×H0~750（高さは工芸品により変更）
 - 展示台の高さは、企画のなかで自由に変更して構いません。
 - 展示台天板の仕様も記載してください。
 - 展示台高さが 750 mmのタイプは原則として対面販売とし、展示台内側に販売員用スペース 900 mm程度を確保。別の小間と後ろ合わせになる場合は間仕切りを設置してください。また、高さ 250 mm以下の展示台は、原則としてバックパネル付としてください。
 - 高さ 750 mmタイプの展示台の下は空洞として在庫品等収納可能としてください。その場合、目隠しに必要な備品は追加してください。
- ※大型の空き箱、梱包材等を収納する倉庫を 2~3 ケ所設置してください。

上記展示台作成は、次の作品展も同様にお考えください。

③第 22 回日本伝統工芸士会作品展（約 500 m²を使用）

イ) 作品展示コーナー（200 点の出品を予定）

経済産業大臣指定伝統的工芸品の優秀な技術者（職人）である伝統工芸士が精魂込めて製作した新作品を展示し、併せてコンクールを実施します。なお、コンクール審査に関する企画提案の必要はありません。

- ・原則として展示台の下は空洞として在庫品等収納可能としてください。その場合

の目隠しに必要な備品は追加してください。

- ・ 空き箱、梱包材等を収納する倉庫を2～3ヶ所設置してください。

ロ) 伝統工芸ミニゼミナール（実施未定）

来場者を対象とした伝統工芸士（職人）によるミニゼミナール（講演会）を実施し、伝統技術の伝承の大切さをアピールします。（30名程度を対象行うスペースを確保。演台、マイク設備、イス等用意）

III. 運営補助業務（補助人員 35名）

①2019 伝統工芸ふれあい広場・岩手

- ・ 体験の準備、参加希望者の受付（体験参加費の受け取り、参加人数の記録など）
- ・ 体験コーナー内の整備
- ・ 体験出展者毎に1名、実演2出展者毎に1名を想定（15名）

② 全国くらしの工芸展担当（展示品の監視及び販売補助） ※販売は出展者が行う。

- ・ 自分の持場を常に巡回し、盗難がないか購入希望のお客様がいないか注意を払うこと。
- ・ 出展者（産地から出張してきている担当者）の補助。
- ・ 全体想定人数（5名）

③ 受付及び場内誘導・ふれあい広場・くらしのアテンド控室等担当

- ・ 来場者への総合案内（質問への対応、パンフレット手渡し等）、場内放送
- ・ 来場者アンケートの対応
- ・ ふれあい広場・くらしの工芸展のお弁当配布（休憩室にてお弁当引き換え）
- ・ 想定人数5名

④ 繭から生糸まで・都府県紹介コーナー等

- ・ 繭から生糸までのアテンドの方が、休憩中に展示品の管理。
- ・ 都府県紹介コーナーのパンフレットの補充
- ・ その他展示・ステージに関する管理・案内
- ・ 想定人数5名

IV. 入 場 料 無料（来場者数想定 3日間 延べ10万人）

V. 設営・撤去等 設 営 日：10月31日（木）～11月1日（金）9:00～17:00

展示陳列：11月2日（土）9:00～17:00（出展者が行う）

搬出日：11月5日（日）16:00～18:00（出展者が行う）

撤去日：11月5日（日）16:00～23:00（搬出優先）